

# 保護者の皆様へ

## 白山っ子の成長のために



白山市教育委員会では、「白山市教育振興基本計画」や「白山市教育大綱」をもとに、ご家庭でも意識していただきたいことをまとめました。

### こんな人に育ってほしい

- 豊かな感性と思いやりの心を大切にする人
- 社会の変化に柔軟に対応しながら課題を解決できる人
- 健康でいきいきとかがやく人
- 白山市に愛着と誇りを持つ人

### そのために、ご家庭、学校、地域社会で連携していききたいこと

- ① 家庭が安心できる場所になるように、笑顔で接し、よさや努力を認めてほめて
- ② 日頃から会話を大切に、興味や特性を最大限に発揮できるサポートを
- ③ 子どもの思いを聞きながら一緒に解決策を
- ④ 礼儀や善悪の判断、言葉遣いなど大人が手本に
- ⑤ 生活リズムを保ち、食事や運動などの生活習慣を大切に
- ⑥ 豊かな自然のもとで、地域活動やスポーツ活動、お手伝いなど社会や家族の一員として多様な体験を
- ⑦ 成長にあわせて学校での学習を補う家庭学習のサポートも



# せんぱいパパさんママさんの体験談・アドバイス

取材協力 白山市PTA連合会

①

認めて  
ほめて



日頃から勉強に関してほめた事はありませんでしたが、一度よく頑張ったねとほめると本当に嬉しそうな笑顔を見ることができ、ほめることは大切であると感じました。(中1父)

中1の頃学校へ行けなくなり、色んな手を尽くしましたが、私の頑張りがプレッシャーに。笑顔が消え、スポーツもできなくなり、人と比べず認めることが大事だとやっと気付きました。(中2母)

②

会話を  
大切に



子どもの話を聞く時は、手を止めて聞くよう心掛けています。親として勉強以外の趣味や雑学等色々な話をする事で子どもの特性に気付くこともあり楽しいです。(小4・中1父)

中学に入り、男の子なので口数は少なくなってきましたが、息子の好きなゲームやマンガの知識を持つために色々調べます。中3ですが話がつきません。(中3母)

③

一緒に  
解決策を



自分の気持ちを言葉にするのが苦手な娘は、叱ると必ず自分の部屋やトイレに逃げ込みます。そんなときはあえて追いかけず1人にして、落ち着いてから一緒にお風呂に入ります。(小3母)

友人関係のトラブルで時折休みがちになるわが子ですが、私の休みと一緒にになった日は、二人だけで外食するなど、親子のきずなだけは深められるようにしています。(小4・小6・中3父)

④

大人が  
手本に



「だめ!!」だけではなく、「何がダメなのか」「そのことで他の人がどのように感じるだろうか」大人の思いを丁寧に話をする事は大切なことです。(小4父)

子どもの前では悪い言葉をつかわない様、心がけています。最近はインターネットで色々な言葉を覚えてきます。つかい方を知らないのに言葉だけ言ってしまう事があるので気をつけていきたいです。(小5母)

⑤

生活習慣を  
大切に



早寝・早起・朝ごはんを意識して生活していましたが、中学生になると部活や勉強で寝る時間が遅く、結果体調も崩れやすくなった気がします。(中1父)

食事の時間をなるべく一定に。そのためにはお母さん任せにせず、お父さんも炊事、洗濯、掃除もやろう。環境が整う家は居心地がいいから子どもたちも落ち着くと良いなあ。(中3父)

⑥

多様な  
体験を



私が参加している獅子舞に3人の息子たちも参加してくれています。親子4人での演武は貴重な体験でした。今では立派な担い手です。(小2父)

小学校5年生のとき、息子と一緒にPTAの白山登山に参加しました。初めは「登山なんて嫌だ。」と言っていましたが、登頂した経験が嬉しかったのか、翌年には妻と娘も一緒に家族全員でもう一度白山に登りました。(中1父)

⑦

家庭学習の  
サポートも



毎日でなくとも、子どもが宿題をするときにテーブルの向かいに座って用事をするかわら、様子を見ています。くせや苦手な点を見つけたらアドバイスし、よくなったらほめます。(小3母)

宿題の「自学」は多くの子どもが嫌がるものです。「何したら良いか分からん。」という子どもに、漢字練習をさせるのはお勧めしません。取り組むものは何でも良いので自分からやりたいと思うことにうまく導いてあげてください。(中1父)